

## 大事にされる？ 衰え早く



昔、「うちの女房にや髭がある」という歌があった。が、そんな強い女房も、なぜかヒゲを抜かれ、借りてきた猫みたいに丸くなっている。

78歳のA子さん。高血圧の患者さん。「同窓会があるので、東京へ行ってよい？」と聞く。そんなこと、医者への許可が必要か？ ウーム。娘さんがうるさいらしい。なら、この先、認知症が心配になる。

ひとの認知能力は、80歳を過ぎると急激に低下する。それで、80歳代では約3割が、90歳代では半分以上が認知症になるとされる。ことに、女性は不利で、男性より認

## 認知症にさせる第8条

が関係しているという説もある。

だが、理由はそれだけではない。65歳から70歳代では、認知症の発症率は女性も男性もほぼ同じだ。なのに、80歳代になって差がついてくる。どうしてか？ 後期高齢者になる前の女性の日常生活は、まだ現役だ。毎日、亭主の世話や孫もりなどで忙しい。やがて亭主が片付き、孫も育つと、途端にひまになる。そして今度は、子供たちから、急に大事にされるようになる。

もつ、なにもしなくて良いからね。家事なんか、嫁の仕事よ。放っておきなさい。なにかあったらタイヘンだから、ひとりで外出しないでね。そう、老いては子に従

## できるなら遠出して

いなさいと、急に子供が強くなってしまう。気づいたときは、過度な安静によって体が衰える「廃用症候群」だ。頭は働かず、ちょっと動けば息切れがする。

さて、認知症にさせる第8条は、「できるだけ、外出させない」である。親思いの子供たちの気配りはありがたい。その子たちの良い親になってやりたい、という気持ちも分かる。でも、行けるなら、ロンドンでもパリでも、どこでも行きなさい。いつまでも子供をハラハラさせるほうが、先々のためには、ホント良いかも。

(石黒修三 しいしぐるクリニック  
・脳神経外科専門医、金沢市在住)